

「今月の1枚」



写真1 レース状の網が美しいキノコ。網が白いのはキヌガサタケで竹林に生えますが、網が黄色いのはウスキヌガサタケで割と珍しいもののようです。広葉樹が混じったヒノキ造林地で見つけました。早朝に卵状の幼菌から柄が伸び、半日で萎縮し倒れます。これに出会えたのは僥倖でした。



写真2 先端部分にはグレバと呼ばれる液状になった胞子がべったりとつき、悪臭を放ってコバエを呼び寄せます。写真を撮ったときもたくさん来ていました。胞子はコバエにくっついて散布されます。



写真3 基部は袋状の幼菌が残っています。軸は中空でスポンジ状で食べられます。筆者が中華スープにして食べたところ、歯ざわりがシャクシャクして何ともいえないコクが出ておいしかったです。

ウスキキノガサタケ *dictyophore indusiata* f. *lutea* (スッポンタケ科)

(写真・文：酒井 敦 2014.6.10 高知県津野町にて撮影)

(No.246 2014.6.16 掲載)